

(様式2)新規評価シート

建設部

道路建設課

事業種類	主要な道路の整備		事業名	県単道路改築				
市町村名	長野市	ふりがな 箇所名	(国)403号	わたうちふるや 綿内古屋	事業年度 (完了年度は見込み)	26年度～	30年度	
事業概要	区分	事業内容	事業費(千円)		財源内訳(千円)			
	全体	道路改築工事 L=200m W=6.5(12.5)m	480,000		国庫	その他	県債	
	H26年度	用地測量、物件調査 1式	4,925				一般財源	
事業評価	区分	評価項目・指標等	評価区分			①得点	②重み 係数	③評点 (①×②)
	必要性	計画交通量	<input checked="" type="checkbox"/> 4,000台/日以上	<input type="checkbox"/> 1,500台以上～ 4,000台/日未満	<input type="checkbox"/> 1,500台未満	10	0.3	24
		代替道路	<input type="checkbox"/> 唯一の道路である	<input checked="" type="checkbox"/> 代替となる道路がある		0		
		ネットワーク (道路網)	<input checked="" type="checkbox"/> バス路線である	<input type="checkbox"/> 駅やICなどに通じる または 役場と交通 結節点や支所などを 結ぶ路線	<input type="checkbox"/> 左記に該当しない	15		
			<input checked="" type="checkbox"/> ボトルネック箇所	<input type="checkbox"/> ボトルネック箇所 でない		10		
			<input checked="" type="checkbox"/> 観光地に通じる道路	<input type="checkbox"/> 観光地に通じる道路 ではない		20		
		各事業特有の必要性 (安全の確保)	<input type="checkbox"/> 4.0m未満又は30m 未満又は8%以上 (幅員、半径、勾配)	<input checked="" type="checkbox"/> 4.0m以上5.5m未満 (幅員)	<input type="checkbox"/> 5.5m以上(幅員)	5		
			<input checked="" type="checkbox"/> 自動車と自転車・ 歩行者との分離を 図る	<input type="checkbox"/> 歩道はあるが不十分 であるものを再整備	<input type="checkbox"/> 自動車と自転車・ 歩行者との分離が なされていない	20		
	小計					80		
	重要性	設計上の環境・景観配慮	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮が され確実性が高い	<input checked="" type="checkbox"/> 環境・景観配慮が されているが確実性 が低い	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮をして いない	30	0.1	6
		地域の法的な位置付け	<input type="checkbox"/> 緊急輸送路(1次)に 位置付けられている	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送路(2次)又は、 振興山村、積雪地域、 過疎地域、地震防災対 策強化地域、観光圏整 備実施計画認定地域に 位置付けられている	<input type="checkbox"/> 特別な位置づけは ない	30		
		小計						
	効率性	費用対効果	<input checked="" type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0以上	<input type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0未満 (3便益以外の観点から 一定の効果が得られる)	<input type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0未満	25	0.2	15
		事業効果の早期発現 (事業期間)	<input type="checkbox"/> 事業年数 3年以内	<input checked="" type="checkbox"/> 事業年数 4年～5年以内	<input type="checkbox"/> 事業年数 6年以上	25		
		コスト削減	<input type="checkbox"/> 全体的に構造物・ 規格等についてコスト 削減を実施している。	<input checked="" type="checkbox"/> 部分的に構造物・ 規格等についてコスト 削減を実施している。	<input type="checkbox"/> コスト削減はしていない	25		
		小計						
	緊急性	安全性の向上	<input checked="" type="checkbox"/> 交通事故や落石等の 危険箇所の安全を向 上させる	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の 危険箇所指定はない が安全を向上させる	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の 危険がない	50	0.2	20
		各事業特有の緊急性 (医療・福祉)	<input checked="" type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が 発揮できる道路 (ネック箇所の解消)	<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が 発揮できる道路 (円滑化が図れる)	<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携に 関係ない道路	50		
		小計						
	計画 熟度	地域からの要望	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の内発的な 要望が強い	<input type="checkbox"/> 市町村からの要望	<input type="checkbox"/> 特に要望がない	35	0.2	20
事業情報の共有		<input checked="" type="checkbox"/> 広く一般に周知	<input type="checkbox"/> 関係者中心に周知	<input type="checkbox"/> 特に周知していない	35			
住民参加の状況		<input checked="" type="checkbox"/> 住民が計画策定に 直接参加	<input type="checkbox"/> 住民や市町村の意見 を計画策定に反映	<input type="checkbox"/> 特に住民意見は反映 していない	30			
小計					100			
費用対効果(B/C)		2.7	評価の合計				85	
事業 周辺 環境	事業実施に至る歴史 的経緯・社会的背景	一般国道403号は、上越市から安曇野市に至る広域幹線道路である。そのうち、須坂市から千曲市間では、地域経済を支える主要道路であるとともに、緊急輸送路に指定されており、安全・安心確保のためにも重要な路線となっている。しかしながら、長野市綿内地区の当該区間では2車線が確保できておらず、大型車のすれ違いに支障をきたしている。また、歩道も整備されておらず、歩行者の安全も確保されていない。一方、平成24年度3月に並行して走る長野電鉄屋代線が廃止となり、代替バスの主要な走行路線となった。以上により、バス利用者の定時性確保を図るため、当該区間の改良を実施したい。						
	地域からの要望経緯	地元区から継続的(要望・現地調査)に安全確保のための改良の強い要望がある。また、(国)403号(中野・千曲間)整備促進期成同盟会からも同様の要望がある。						
	事業説明等の経緯	平成24年11月に本計画箇所を含む3地区で道路予備設計についての地元説明会を開催している。全体改良必要延長が長い(約900m)ため、地元区役員等からなる「国道403号線改良準備委員会」と本箇所を優先実施区間とすることについて確認を行った上で、平成25年9月に、沿線住民に対して通知文により、本工区を優先実施区間とすること及び本工区の詳細設計を実施することについて周知した。						
	環境・景観への配慮 項目	交通量に見合う、低騒音舗装を検討している。						
	他事業・プロジェクトと の関連	長野都市計画マスタープラン 長野県新交通ビジョン						
	特記事項	長野電鉄屋代線が、平成24年3月に廃止され、バスによる代替え運行が開始されており、更なる交通事情の悪化が予想されている。						
地域の合意形成	<input type="checkbox"/> 全員賛成	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね賛成	<input type="checkbox"/> 過半数賛成	<input type="checkbox"/> 動向不明				
部意見	計画熟度が高く、幹線道路として安全かつ円滑な通行を図る必要があるため、平成26年度から事業化したい。			行政改革課 意見	緊急性が高く、必要性も認められる。			